

1 研究主題 子どもの表現力を高める指導の在り方

2 研究の概要

4月21日(火) 組織の構成 役割分担 事業計画立案

6月10日(水) 実技研修「ローラー・スタンピング・フロッタージュ」

講師：新発田市立藤塚小学校校長 長谷川重雄 様

11月24日(火) 実技研修「版画」・合評会

講師：(株)クラフテリオ 森 春菜 様

3 研究の実際

(1) 「ローラー・スタンピング・フロッタージュ」研修 (会場：水原小学校 図工室)

新発田市立藤塚小学校校長の長谷川重雄様をお招きし、1・2年の教材「ころころ ペったん シャカシャカ」を取り上げ、部員が子どもになったつもりで実技に取り組んだ。「ころころ」(いろいろな形のローラーによる版の転写)、「ペったん」(タンポや緩衝材などのスタンピング)、「シャカシャカ」(木の木目やコインなどを鉛筆やクーピーでなぞるフロッタージュ)を使い分けながら、143センチ×40センチの画用紙に楽しく彩色した。

参加者は3つの技法を使い分け、思い思いの道具や色、着色の仕方でも描くことができた。この作品は、研修会時に会場校のご厚意で、中央階段に掲示させていただいた。笑顔で階段を昇降する子どもたちの様子を想像しながら、第1回の実技研修会を終了した。



(2) 「版画」研修 (会場：水原小学校 図工室)

(株)クラフテリオの森春菜様を講師としてお招きし、木版画の様々な技法を指導していただいた。

初めて彫刻刀を持って木版画に挑戦する子どもたちが意欲的に取り組むことができるようにと、考え、「押さえる手は添えるか後ろ。曲線は回しながら彫る。手のはらを版木につける。」という、けがをしないで彫るための3つのポイントを指導していただいた。その他、「インクの伸ばし方、彫りくずの片付け方、刷る紙を中心に置く方法、バレンを2つ使った刷り方」などを、実技をしながら具体的に指導していただくことができた。

刷り上がった紙をめくるたびに、「すごい。いいねえ。」と歓声が上がり、版画の楽しさを味わうことのできた研修会であった。

同日に行った合評会では、2学期に取り組んできた絵画作品を持ち寄り、画材や児童への取り寄せ方など、各自が日ごろ取り組んできた工夫を出し合った。



4 成果と課題

今回の研修で、児童が使う道具・材料に関する教材研究が欠かせないことを改めて実感した。教師がたくさん技法を知ることによって、児童は表現したい思いを具体的な形にすることができると考える。分かりやすい言葉でポイントを押さえて指導することで、児童の豊かな発想を引き出し、表現の幅を広げることにつなげていきたい。